

こんな治療もあります

Q & A

質を改善する注射があると聞きましたが？

減感作療法と言われるもので、スギなら何万倍にも薄めた溶液から少しずつ濃いものに変えて、徐々に体を慣らしていく方法です。現在のところ、花粉症に対する唯一の根治的療法といわれています。しかしこの療法は効果を得るのに数年かかることなどから、実際にスギ花粉症に対して行っている方は少ないようです。

シーズン前に注射するとすごくいいと聞いたのですが？

脂溶性ステロイドの筋肉注射と思われます。1999年版鼻アレルギーガイドラインでは好ましくないと評価されています。確かに効果は抜群ですが、筋肉萎縮、胃、皮膚潰瘍、副腎萎縮、その他副作用が多く、安易にはお勧めできません。同じステロイドでも外用薬にはこのような全身副作用はなく、こちらは比較的安心して使用できます。

どの治療が一番いいの？

まさに人それぞれです。耳鼻科ではご本人の体質と希望に応じていろいろな方法を使い分けていますので、ぜひ一度ご相談ください。

静岡県の花粉情報

今でこそ多くの花粉情報が新聞やテレビで報道されていますが、静岡県では全国に先駆けて花粉飛散調査を行い情報提供がなされてきました。最新の花粉情報は、静岡済生会病院のホームページで提供している静岡県花粉症調査委員会による報告を参考にしてください。

<http://www.siz.saiseikai.or.jp/~jibika/kafun.html>

症 状が実際に出てきた場合、基本的には、抗アレルギー剤、抗ヒスタミン剤の内服や、外用薬(点鼻薬、点眼薬)を組み合わせて処方しています。抗ヒスタミン作用の強い薬は、鼻水、くしゃみなどに即効性があります。眠気、口の渇き等の副作用が強い傾向があるので、本人の症状に適した処方をお心掛けています。

らの抗アレルギー剤の内服は、①発症を遅らせる、②本格飛散後の症状を軽減することから、本格飛散の2週間前(2月上旬)までに服用開始す

るのが効果的です。どうしても症状がないと様子を見てしまいがちですが、予防からはじめることをおすすめしています。

内服薬が効かない、内服薬を服用するのが煩わしい等で、他の治療はないだろうかと考えている方には、レーザー等を使用した鼻粘膜焼灼術を行う方法もあります。鼻閉で困っている方には効果的で、局所麻酔の後、約30分程でアレルギー反応を起こしている鼻粘膜を焼いて反応を起こさなくする方法です。外来で短時間で処置できて、内服薬の減量も可能ですので、興味がある方は、ぜひご相談ください。効果の持続時間はまちまちですが、おおよそ1年弱で8割程の方に効果があるといわれています。

その他にも、鼻中隔矯正、下鼻甲介切除といった、鼻閉の原因となっているものを、直接切除するような手術もあります。

以上が当院で行っている主な治療ですが、その他にも治療法はありますので何でもご相談ください。